

令和元年度 四国中央市ボランティア市民活動センター 事業計画書

【今年度テーマ】

センターの認知度アップと企業ボランティアの推進

【重点実施事項】

1 ボランティア市民活動センターのプロモーション

昨年5月からコスモステレビで放送開始したボランティア団体紹介番組「やってみんの」において、センターとボランティア団体の活動を紹介しているので、今後も放送に向けて調整を行い広報活動に努める。また、センターを紹介するためのリーフレットを活用しつつ、ボランティア登録につながるような仕組みづくりに努める。

2 センターの運営サポート組織の充実

高校生によるお助けボランティアスタッフ（通称：ボラセブン）にボランティア市民活動研修会での受付や司会のほか機関紙作成を経験させることで、学生の視点や発想を活かした新たな企画の創出に期待するとともに、学生自身も成長できる機会を提供する。また、市民活動に高校生が関わっていることについてホームページや情報紙、さらには SNS などの多様なチャンネルを活用して紹介することで、若者世代も含めた幅広い世代のボランティア意識を高める。

3 企業ボランティア受け入れ体制の充実

企業ボランティアの活動を推進するためにも、登録制度の構築やニーズ把握を行うほか、企業が求める情報を掲載したホームページの新設等によりボランティア登録の促進に努め、市民、企業、市の協働を実現する。

【実施計画】

1 ボランティア市民活動センターの運営及び機能強化（設立13年目）

①ボランティア情報の収集と提供

ボランティア活動に関する情報を収集し、提供することによってボランティア活動の活性化を図る。

②ボランティア相談窓口の設置

ボランティア活動の需給調整・コーディネート力の強化を図り、活動に関する相談やグループ運営、NPO設立等についての支援を行い、市民参加・協働のまちづくりを推進する。

③広報・啓発活動

ボランティア活動に関する広報・啓発を行い、市民・ボランティア活動を促進し、市民参加・協働による住みよい地域づくりを進める。

④人材の育成と養成

市民・ボランティア活動に関する知識・技術を身につける研修や体験学習の機会を提供し、諸分野に渡る多くのボランティアを育成・養成する。(ボランティア市民活動研修会など)

<ボランティア市民活動研修会 開催予定>

全5回

定員：各回 50 名程度

回	日にち	講師	所属	研修内容
1	7月30日(火)	松下 照美	モヨ・フィールド・センター	子どもたちの未来に希望を
2	8月8日(木)	樽岡 峻也	愛媛大学E SMO I C O	「ボランティアの可能性と若者の意識」 ～大学でのボランティア経験を通 してわかったこと～
		眞鍋 哲平	愛媛大学A I V O	
3	8月22日(木)	横内 博之	アドベンチャーズ	ボランティアを「究極の趣味」に変える 方法
4	8月29日(木)	矢野 志穂	障がい児・者居宅介 護事業 「ごきげんさん」	障がい理解とボランティア
5	9月5日(木)	前田 眞	愛媛大学 教授 社会連携推進機構	ボランティアの社会的価値

<令和元年度傾聴ボランティア養成講座 開催予定>

日時：11月以降開催 全6回

場所：市民交流棟 定員：各回 20 名程度

講師：加地 初美氏（産業カウンセラー）予定

⑤ボランティアの交流とネットワークの促進

今年度は8月23日に開館するしこちゅ～ホール（小ホール）において、ボランティア団体、個人の発表会及びパネル展示等を含めた交流会を開催することにより、グループ同士の相互理解を深め、ネットワークづくりを促進する。

<ボランティア市民活動発表会 開催予定>

日時：令和元年10月19日（土） 場所：しこちゅ～ホール（小ホール かるた）

定員：200名程度 対象：市内で市民活動を頑張っている方（団体個人不問）

内容：団体発表、展示ブースなど

⑥ボランティア活動に関する調査研究

「第3次ボランティア市民活動推進計画」の実施初年度として、実施項目を計画的に取り組むとともに、市民・ボランティアの各種ニーズに対応・支援できるようにセンター機能の強化・充実を図る。

特に、企業ボランティアの推進を最優先項目として企業ボランティアの登録制度の整備やニーズ把握に努める。

⑦ボランティアへの場所・設備の提供

市民交流棟の会議室やセンターに設置している機器を提供することによりボランティア市民活動の支援を行う。

⑧災害ボランティアの育成

市民の災害に備える意識啓発を広め、日頃からの備えや、災害時のボランティア活動の普及、安心・安全なまちづくりを進める。

<災害ボランティア研修会 開催予定>

日時：令和2年3月11日頃 場所：未定 定員：150名程度

※実際に被災地支援を体験した方などを講師として招聘し、講演会を実施する予定

2 ボランティア教育の推進

ボランティア学習の推進

市内の学校において、次世代の担い手を育成する目的として行っている視覚障がい者についての学習や放課後児童クラブでの点字教室などを、順次範囲を拡大して開催していくことで、本来子どもたちが持っているボランティア精神を引き出し、活動への自主性の発掘に努める。

3 ボランティアの活動支援

ボランティア保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、安心して活動出来るようにボランティア保険の加入促進を図る。